

Topics

町有代替バス「愛治線および屋敷線」、今後の運行を承認

8月5日、中央公民館で「平成26年度第1回鬼北町地域公共交通会議」が開催されました。

これは、地域の実情に即した運輸サービスの実現に必要な事項を協議するために設置されたもので、委員は鬼北町副町長、地元6地区の代表者、地元のタクシー業者、宇和島自動車、道路管理者、愛媛運輸支局、愛媛県バス協会および宇和島警察署の

各機関からなる合計19名で構成されています。

会では、まず芝田正文副町長を会長に、そして松浦幹生近永地区区長会長を副会長に選出。その後、路線バスの廃止により鬼北町が運行している町有代替バスの愛治線および屋敷線について協議が行われ、引き続き現行どおり運行することが承認されました。

Topics

風に揺れる柔らかな光 幻想的な世界に引き込まれて…



1

1_道沿いにずらりと並んだキャンドルが下鍵山の町並みを照らし出す／2_山鳥坂鎮縄神楽保存会による「大蛇退治」



2

明星ヶ丘いきいき会主催の「ひよし星降るキャンドルナイト」は8月23・24日の2日間、日吉地区の下鍵山商店街や明星ヶ丘を中心に開催されました。

下鍵山の町並みをオレンジ色に映し出すキャンドルの暖かい光。その幻想的な町並みを歩く人たちの姿は、まるで別世界に紛れ込んでいるかのような雰囲気包まれていました。

また、24日には「鬼の里の夜神楽」と題して、大洲市肱川町の「山鳥坂鎮縄神楽保存会」、高知県梶原町の「梶原町津野山神楽保存会」、そして、鬼北町の「富母里神楽保存会」が集結。それぞれの会員らによる迫真の舞が披露されました。観客らは、団体ごとの個性が感じられる舞いに魅了され、一つの演目が終わるごとに盛大な拍手が送られていました。

Topics

日吉の心に根付く「武左衛門精神」 深まる絆に、広がる笑顔

8月14日、道の駅日吉夢産地で「第30回武左衛門ふる里まつり」が開催されました。

このイベントのメインである「武左衛門一揆行列」。武左衛門役の高橋俊裕さんを先頭に、当時の農民に扮した日吉地区の人たちが各地区のむしろ旗やたいまつを掲げ、時折喚声をあげながら、武左衛門広場から会場までの道のりを練り歩きました。

また、会場では、日吉小学校児童らによる武左衛門太鼓の演奏や歌謡大会など、さまざまなステージショーを実施。毎年恒例の盆踊りでは、雨の中、参加した人たちが笑顔で踊り切り、会場を盛り上げました。



1_数年ぶりに復活した練り踊り。活気ある踊りで武左衛門行列を先導した／2_訴状を掲げ、むしろ旗を掲げ、たいまつを手に、下鍵山の町中を闊歩する武左衛門行列の一行

2